

学校と社会をつなぐ調査 最終査直前イベント
「いま、学校と社会をつなぐとは」

これからの社会に必要な力とは？
～非認知能力が“私たち”を育ててくれた～

卒業生曰く

代打

2021年9月18日（土）

前鷗友学園女子中学高等学校校長
大妻多摩中学高等学校アドバイザー
吉野明

漆先生、残念です!!



- 皆さん、是非読んでください

https://www.jstage.jst.go.jp/article/sposun/30/3/30_3_253/_pdf

- 1990年代 **S O S**

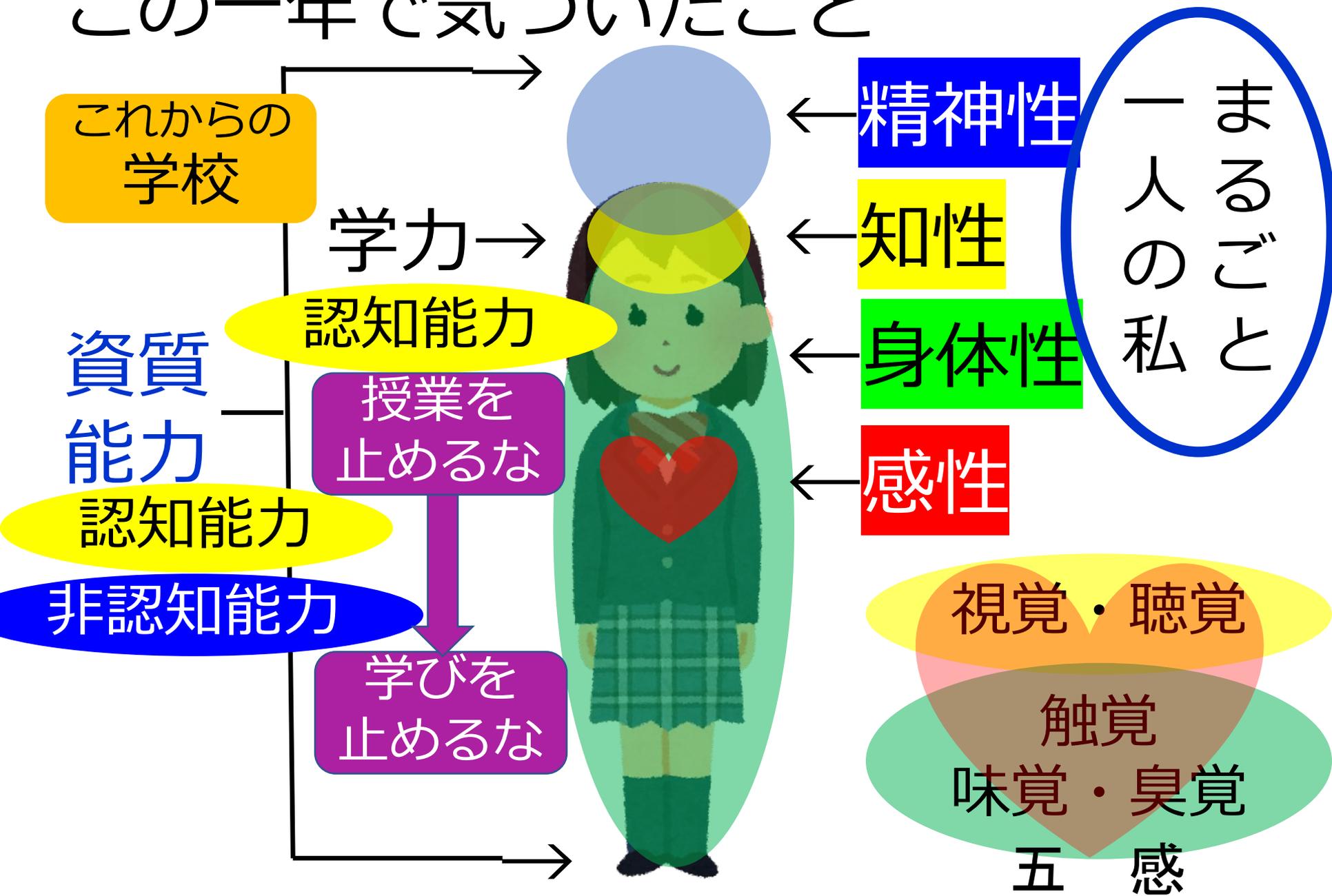
品川女子学院、洗足学園、鷗友学園

当時の“若手”の自主的な研究会

進路、広報、学校改革をテーマに夕方～

トータルでバランスの取れた教育とは

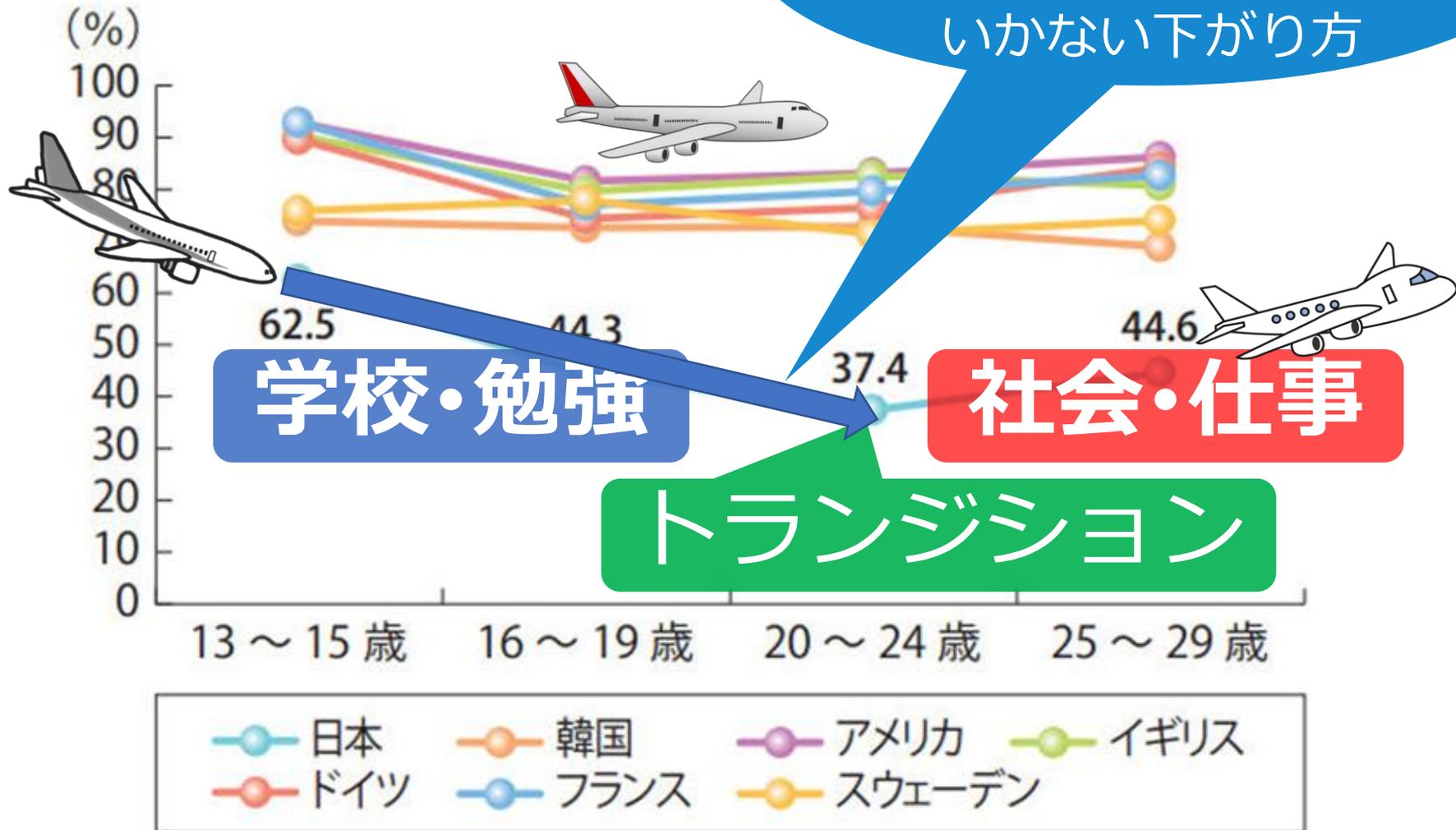
この一年で気づいたこと



自己肯定感の国際比較

自分自身に満足している

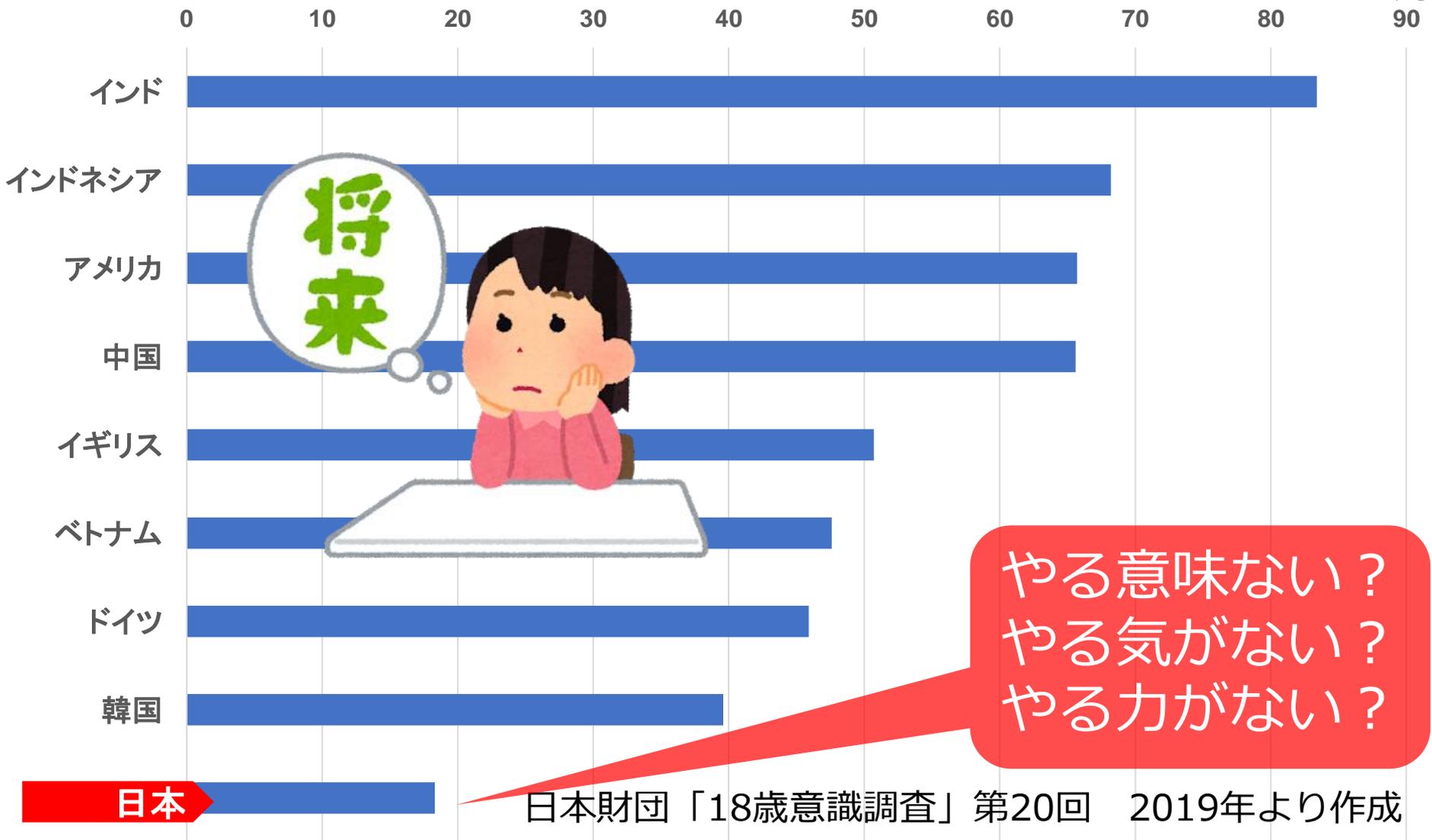
単純に“誤差”や
“慎重深い国民性”で
片づけるわけには
いかない下がり方



自分で国や社会を変えられると思う

「はい」の回答者の割合

%



大人の都合

良い子



イイネ
泣かない子
症候群

言うことを聞く子
周囲を気づかう子
強い子 / 優しい子
成績が良い子

悪い子



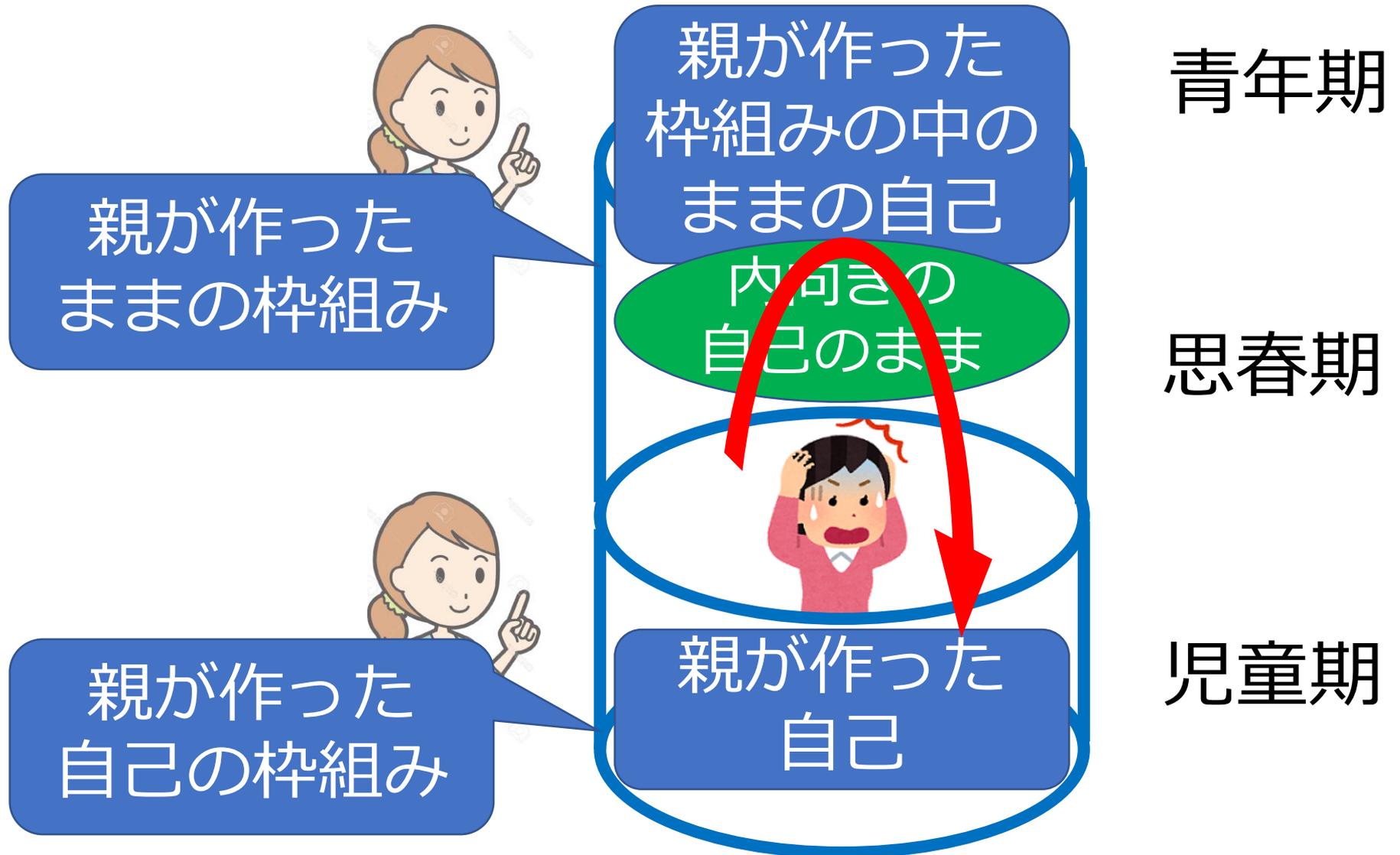
泣きわめく子
言うことを聞かない子
気をつかわない子
弱い子 / 我が儘な子
成績が悪い子

親の期待に応える子

親の期待に応えられない子

自己肯定感・自己管理能力の低下

思春期の親子関係で心配なこと

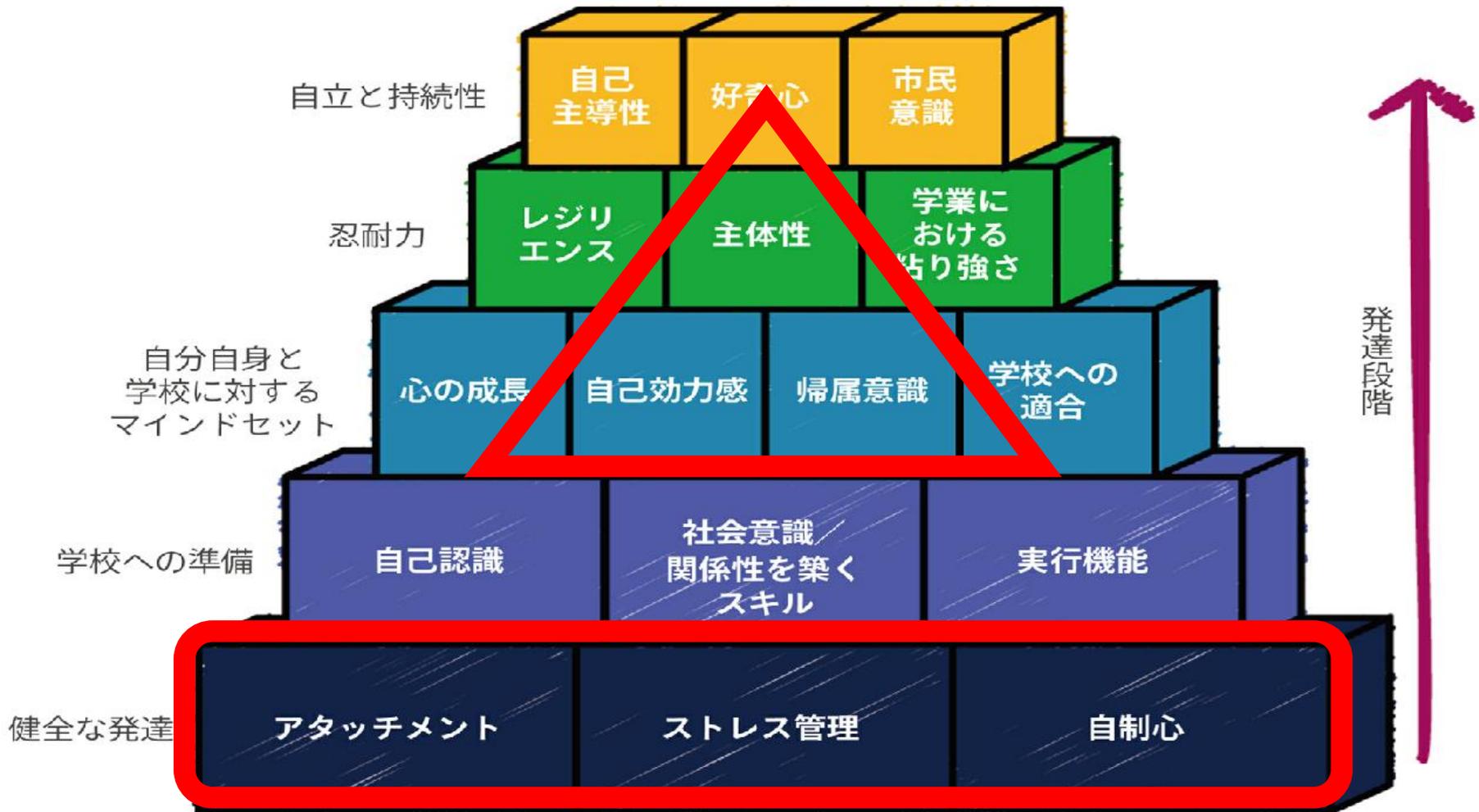


思春期の親子関係で大切なこと



学習のための積み木

(ターンアラウンド・フォー・チルドレンの研究ペーパーより改変)

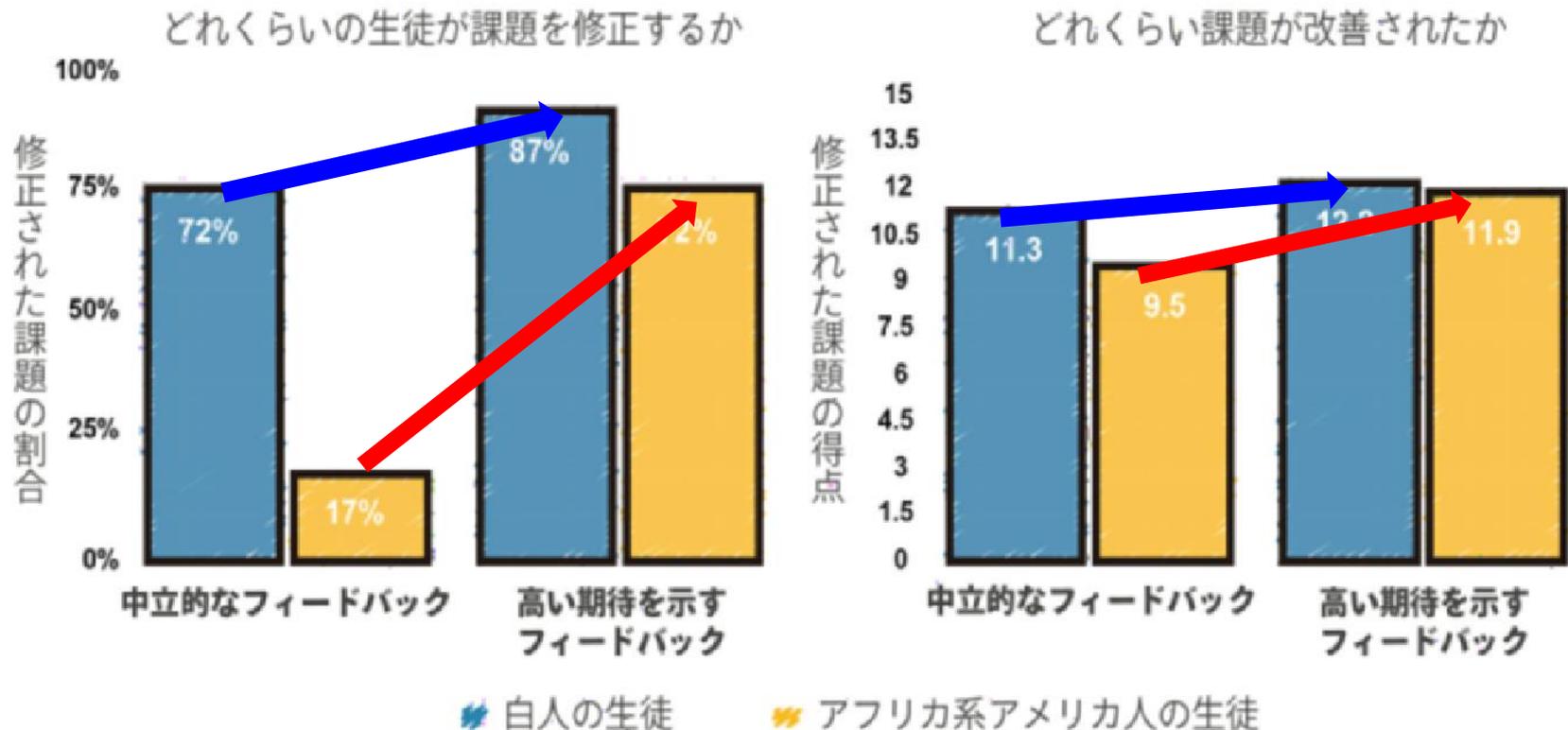


ポール・タフ『私たちは子どもに何ができるのか—非認知能力を育み、格差に挑む』英治出版

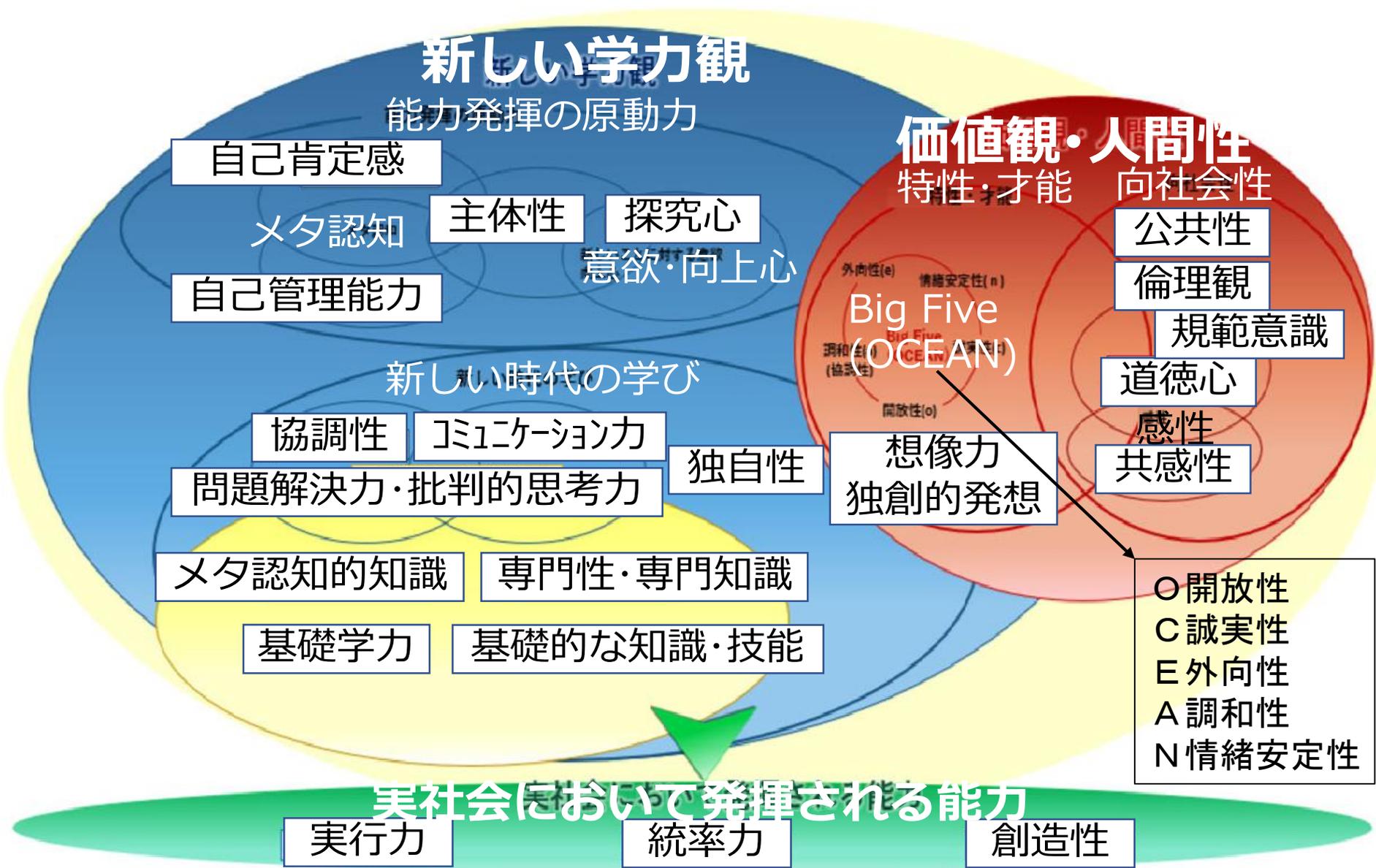
こうした性質が身についていない子どもたちが、上級学校にあがるころになると、多くの教師や学校管理者の目には「**態度が悪い**」あるいは「**モチベーションが低い**」ように映る。しかし、教師たちのそうした認識は、重要なコンテクストを見逃していることから起こる。ごく幼い時期に、**過剰なストレスの緩衝材**となってくれる**人間関係のない環境**で育った子供に対しては、たとえば数学でやる気を示せないとしても、ぐずぐず文句をいわずにやればいい、とはいえないかもしれない。多くの場合、**集中力**や**作業記憶**、**認識力**の柔軟性の問題であり、こうした能力が育っていないのは、**幼少期にあった出来事のせい**かもしれないのだ。（一部改編）

先生からのフィードバックは 生徒の積極性や成績に影響する

“このクラスで歓迎され価値を認められている”
“簡単ではなかったが、がんばってやり遂げた”



「非認知能力の育成と発揮」に関する要素概念図



「『非認知能力』の概念に関する考察（Ⅱ）

～『非認知能力』の要素における関連性の観点から～」より

- 内閣府，文部科学省，厚生労働省，経済産業省，および OECDが提唱する「新しい時代に必要な能力」についての10の提言について調査し，共通する能力の要素を抽出（除「価値観・人間性」）

認知能力	①基礎学力 ②基礎的な知識・技能 ③専門性・専門知識
非認知能力	④問題解決力 ⑤批判的思考力 ※④⑤は「認知能力」に区分される場合もある。
	⑥協調性 ⑦コミュニケーション力 ⑧主体性 ⑨自己管理能力 ⑩自己肯定感 ⑪実行力 ⑫統率力 ⑬創造性 ⑭探究心 ⑮共感性 ⑯道徳心 ⑰倫理観

「『非認知能力』の概念に関する考察（Ⅱ）

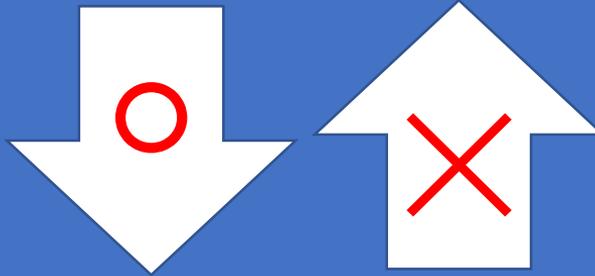
～『非認知能力』の要素における関連性の観点から～」より

- これらの「非認知能力」に関する文献を参考に「非認知能力」の要素の関連性に着目した要素概念図を作成
- ⑥～⑱の14の「非認知能力」の要素に関する質問項目を含む文献（幼児から社会人までを調査対象とする既存資料）の中から、52の資料を選定し、**1,498の質問項目についての分析**を実施
- 各能力の要素をさらに「特性」と「能力」とに区別した。例えば、「みんなで協力して何かをやり遂げるのが好きだ」という質問項目は「特性」に、「異なる立場の相手とも協力できる」「相手の立場にたって考えてみることができる」といった質問項目は「能力」に該当

「非認知能力の育成と発揮」に関する要素概念図

非認知能力

= 認知能力以外のすべての能力
統一的な測定手法が確立されていない

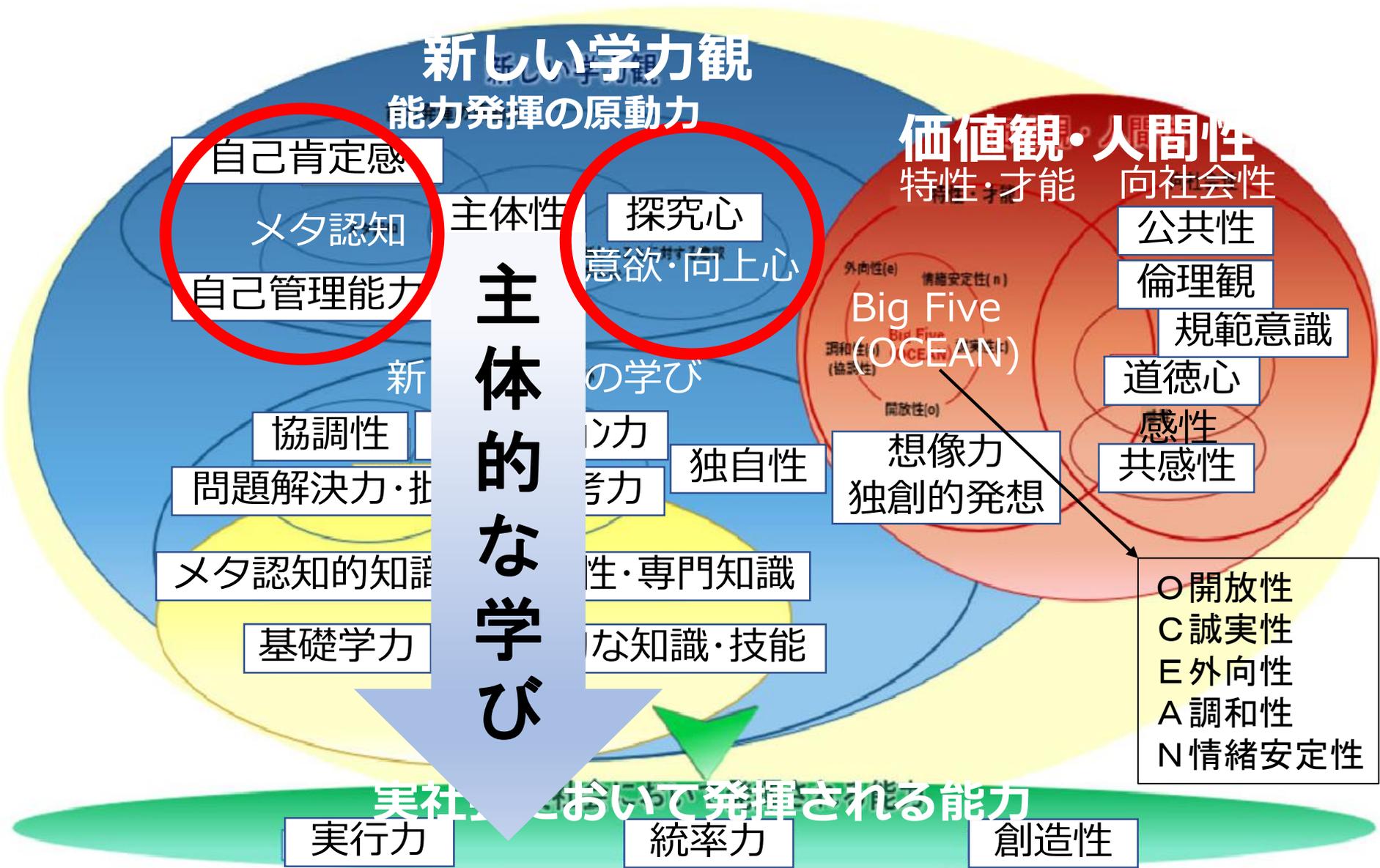


認知能力
= 学力テスト等
で測定可能

非認知能力が高いと
認知能力も高くなる

認知能力が高くても
非認知能力は
高くない

「非認知能力の育成と発揮」に関する要素概念図



学校での生徒の幸福に貢献するもの

What contributes to students' well-being at school



学力の3要素→

資質・能力の三つの柱

2007年学校教育法

主体的に
学習に
取り組む態度

2017、18年学習指導要領

学びに向かう力
人間性等

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

2014年高大接続答申

主体性
多様性
協働性

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を
総合的にとらえて構造化

何を理解しているか
何ができるか

知識・技能

理解していること・できる
ことをどう使うか

思考力・判断力・表現力等

学力の3要素→

資質・能力の三つの柱

2007年学校教育法

主体的に
学習に
取り組む態度

2017、18年 **学習指導要領**

学びに向かう力
人間性等

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

2014年高大接続答申

主体性
多様性
協働性

他者と協働しながら社会の中で主体性を持って生きる力

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を
総合的にとらえて構造化

何を理解しているか
何ができるか

知識・技能

理解していること・できる
ことをどう使うか

思考力・判断力・表現力等

「教える」から「学ぶ」へ

from teaching paradigm to learning paradigm

体系的・網羅的で
広い知識

主体的・対話的で
深い学び

Active
learning



評価⇒評点に
なりがちだった
from Evaluation



生徒一人一人の学習の
成立を促すための評価
to Assessment

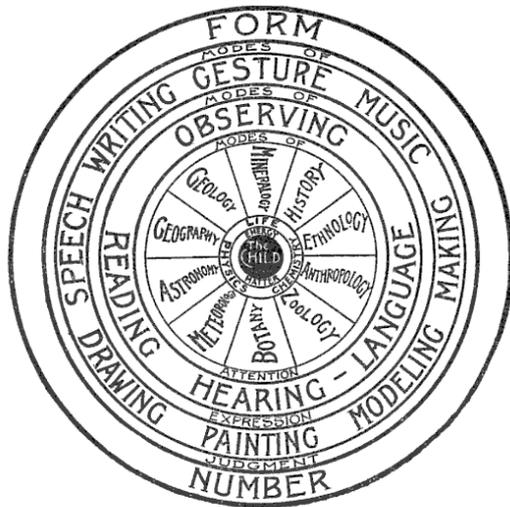
鷗友学園とは

- **東京府立第一高等女学校** 同窓会：鷗友会
1888年 東京府高等女学校として創立
現在、東京都立白鷗高等学校・附属中学校
- 「中興の祖」**市川源三** “名校長”と謳われる
1901年 東京高師卒業後、教諭として赴任
1918年 東京府立第一高等女学校校長に就任
リベラルな教育を実践
1935年 府議会で問題に→第一高女を退任
- **鷗友学園高等女学校** 世田谷高等女学校を継承
1935年 鷗友会が創立、**市川源三**を校長に招く

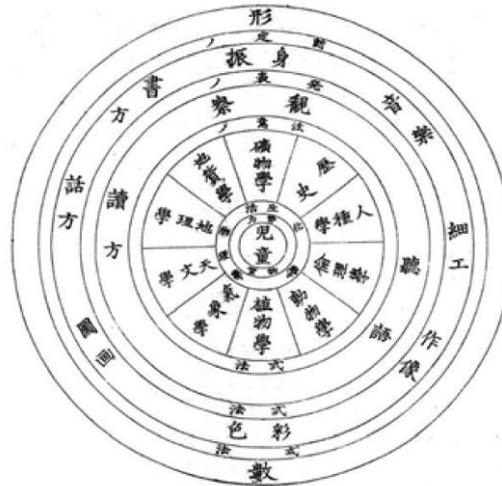
市川源三の教育の原点

- 高師時代に社会学・心理学・教育学の文献翻訳
→大正新教育、戦後民主教育の原典

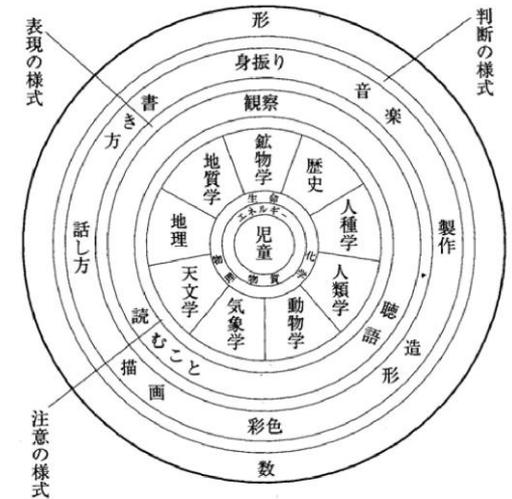
【例】1900年「パーカー氏統合教授之学理」
コア・カリキュラム、合科などを紹介



1894年 原著



1900年 市川記



1976年 西村・清水記

市川源三の倫理教育

倫理教授
哲学→理論

倫理実習
実践→行為

徳目
人の言葉

倫理予習
道徳→宗教

啓示
神の言葉

- 神道・武士道…表面的な「型」を重視 **×**
- 仏教・儒教…支配の陋習による弊害 **×**
- キリスト教…代替がなければ他にない **○**

市川源三と宗教教育政策

- 1899年 文部省訓令第12号
「一般ノ教育ヲシテ宗教以外ニ特立セシムル件」
- 1925年 全国高等女学校長会議
市川源三 “思想善導のため宗教教育は必要”
“宗教教育を排除して信念は養えない”
「宗教的信念を啓発するに力め
生徒の信教に便宜を与ふること」
- 1925年 全国中等学校協議会
「女子中等学校に於いて
奉仕の念を養成する方向如何」
- 1929年 文部省参与官声明 “宗教教育を認める”
- 1935年 文部次官通牒発普160号
「宗教的情操ノ涵養ニ関スル留意事項」

市川：「女性である前に一人の人間たれ」

- 女性を束縛から解放せよ 1900年『女子教育』発刊
- 「全人教育」
 - 智育：理数等中学校(男子)と同等の学力
 - 徳育：キリスト教中心に宗教教育の重視
 - 美育：音楽、美術など芸術や表現の重視
 - 体育：“はしたない”を排除 心身の健康
- 「自学自治」 生徒の選挙による学級自治会制度
自治的人間を育成、将来に備えよ
- 「自動創造」 自らが動いて創造する実学教育
合科によるリベラルアーツ

人を（女性を）自由にする学芸

合科の伝統



みんなの
笑顔

1班

家庭

生活

働くのは・学ぶのは何のため？

お金？

一つの
目的

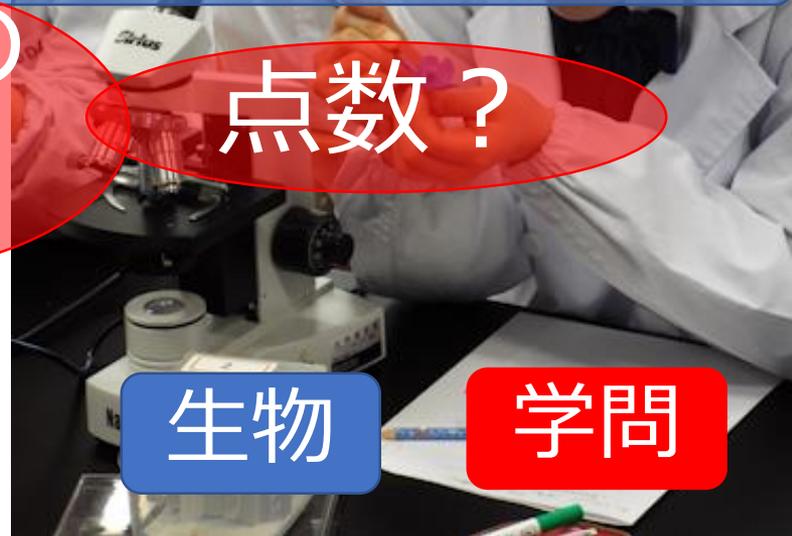
点数？

園芸

労働

生物

学問



鷗友学園の「改革」

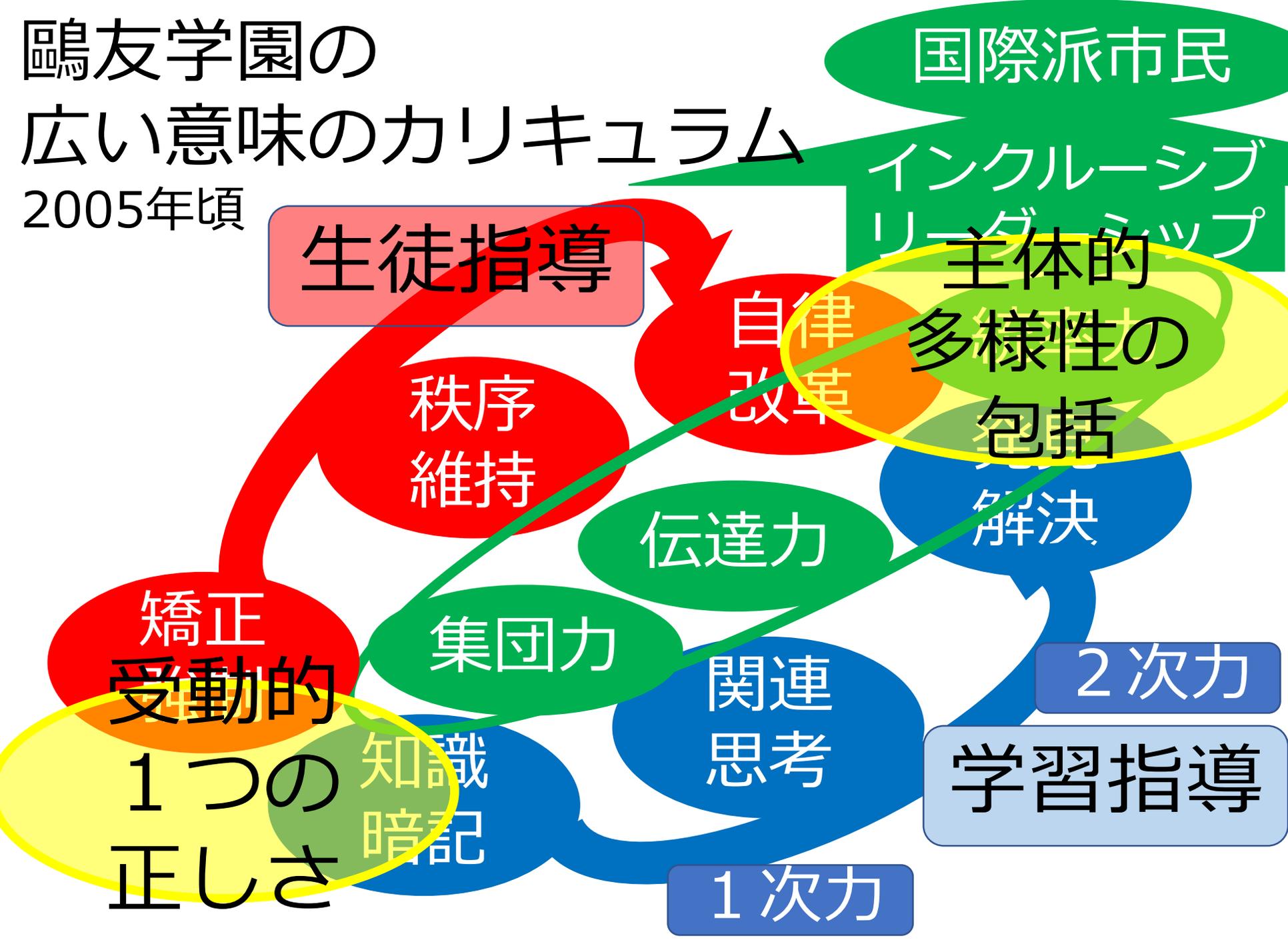
- 1965年 理科館（5実験室+1）竣工 “全員が研究者”
- 1980年 総合社会⇒現代社会の導入
- 1982年 カウンセリングの導入 →85年 相談室の開設
- 1986年 “まず肯定から始めよう”
“知性と感性、精神性と身体性のバランス”
- 1987年 “アイデンティティの確立を援助する進路指導”
- 1990年 各学年テーマ学習⇒総合的な学習の導入
- 1994年 「四科総合入試」宣言
- 2003年 エンカウンター、シラバス導入
- 2004年 3日に一回の席替え、All English導入
- 2013年 アサーション・トレーニング導入
- 2017年 教科ルーブリック（長期的ルーブリック）導入
- 2018年 高校生にBYOD導入

進路指導

キャリア教育

鷗友学園の 広い意味のカリキュラム

2005年頃



生徒指導

自律改革

秩序維持

伝達力

主体的
多様性の
包括

解決

2次力

学習指導

1次力

矯正
受動的
1つの
正しさ

知識
暗記

集団力

関連
思考

インクルーシブ
リーダーシップ

国際派市民

思春期の女子を伸ばす 生活指導のカリキュラム



- 男子より先に**言語的抽象化能力**が発達する
言葉で聞いたことを一般化して行動に移す
→ 周囲の目を意識し、**教室は失敗する場所**
周囲の期待通りの自分になろうとする
⇒ 低くなりがちな自尊感情を育み、
自己肯定感を伸ばす
3日に1回の席替え **居場所がある**
アサーショントレーニングなど
“このクラスで歓迎され価値を認められている”

安心安全
な場

3日に一回の席替え

- 少なくとも3日に一回は“こんにちは”
→私は一人の生徒として認められている
- シャッフルされ、全員と顔なじみになる
→小さく固まらず、大きな集団ができる
- 発言に頷いてくれる、失敗が怖くない
→相手の人格を否定せずに議論ができる

~~間違い~~

エンカウンター・グループ

- 「他者」との「出会い体験」、心と心の交流
- 本音をぶつけ合う自己開示→アイスブレイク
- 技法を学び、クラス作り、授業などで利用

アサーション・トレーニング

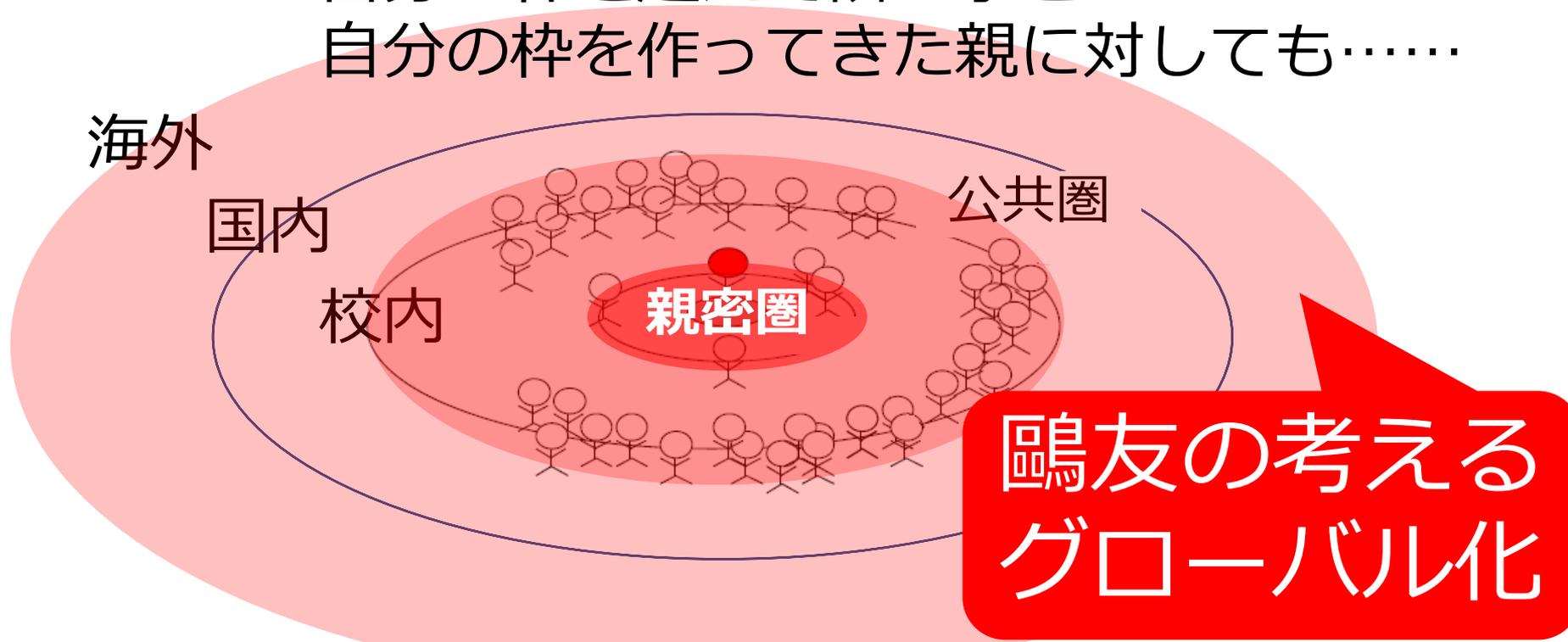
- 自分も相手も大切にしたい自己表現を身につける
自分の気持ちや考えを正直に相手に伝える
相手の立場を考えその場にふさわしい表現を考える
対立や葛藤に向き合い、自分らしい表現をめざす
- オリジナルプログラム 事例によるワークショップ
アサーティブ（バランス型・相互尊重型）
ノンアサーティブ（非主張型・相手優先型）
アグレッシブ（攻撃型・自分優先型）
- 中学1年生1 + 5回、中学2年生5 + 1回
専門のトレーナーを各クラスに1名ずつ配置
担任は観察者として参加、共に学び日常に役立てる

居場所があると自尊心が高まる

⇒自信を持って自分の枠を超えられる

自分の枠を超えて隣の子と……

自分の枠を作ってきた親に対しても……



なるべく異なるメンバーで活動する場をより多く
→親密すぎない親密圏と疎遠でない公共圏を重ねる
→人格を否定せず異なる価値観を理解して議論

思春期の女子を伸ばす 学習指導のカリキュラム



- 男子より遅れて**数理的抽象化能力**が伸びる
理数の理解に時間がかかることがある
→レッテルを貼られやすい

「女の子だから…」 「女のくせに…」

⇒理解しやすい順番に **自己肯定感**

カリキュラムを変更する

中1の理科は生物だけ 実物に触れる

物理選択が 2 / 3 ~ 3 / 4 になる

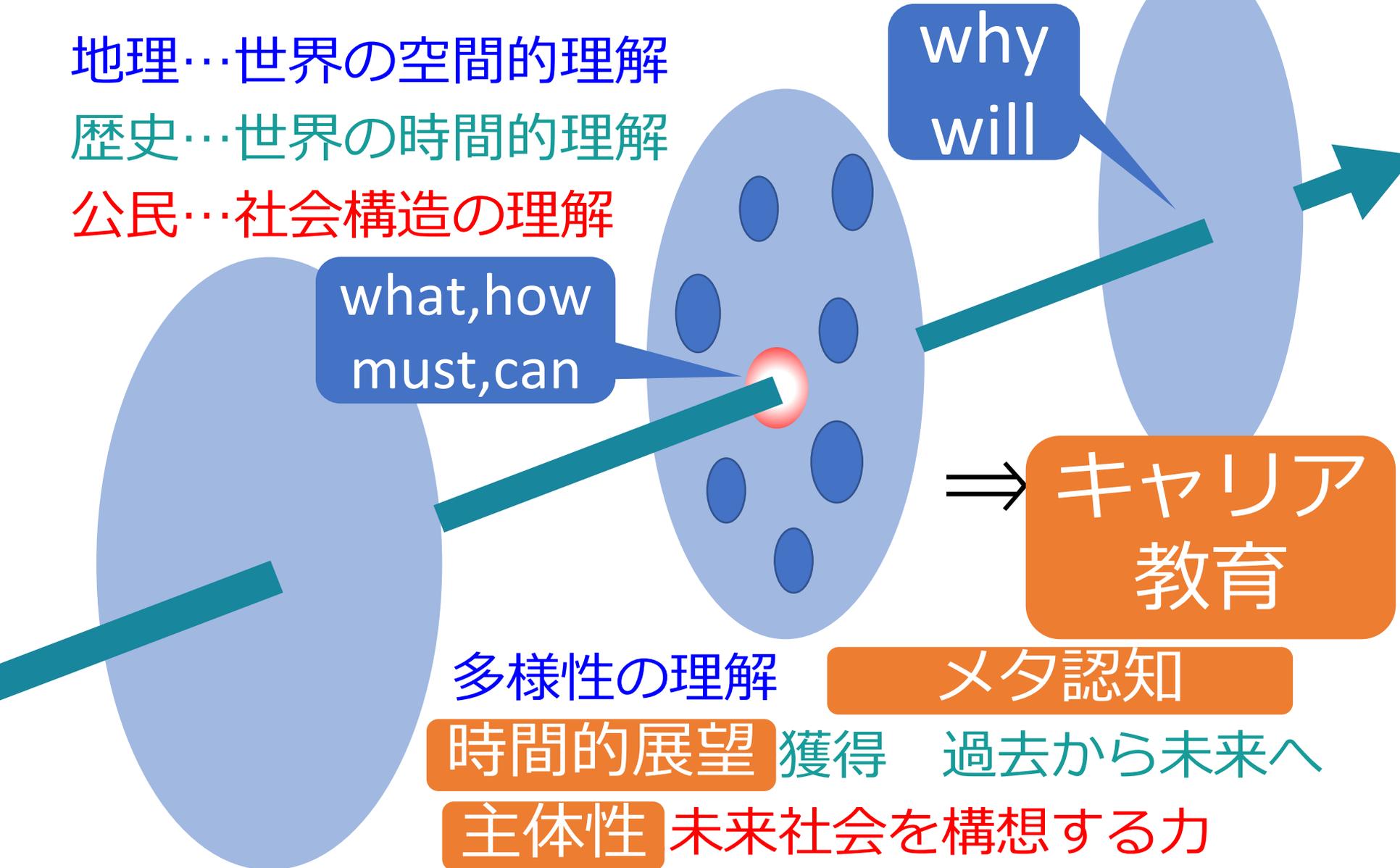
“簡単ではなかったが、がんばってやり遂げた”

社会科の例 他者理解⇒自己理解

地理…世界の空間的理解

歴史…世界の時間的理解

公民…社会構造の理解



高1から始まる BYOD 2018年



- 自分の機器を学校に持ち込んで使用する

大前提 全教室Wi-Fi環境・Projector完備

- BYOD の理念は3つ！

① ICT機器は文房具、「学びのツール」として使おう

② 社会のルールとマナーを守って使おう

③ 自分の機器に「愛着」を持とう

⇒ 「使わない時間」も大切に、ルールは生徒自身が考える

- 教員間の了解

① ICTは手段であり、目的ではない

② まずこれまでの良い授業を前提に、ツールとして利用

③ 使い方が分からなければ生徒に聞け

多様性

信頼関係

主体性

協働性

四科総合入学試験について（抜粋） 1994年11月

創造

豊かに生きる

共に生きる力

誠実

1. 科目の壁を越える

教科中心主義を否定

- 現実の私たちの生活の中では、1科目の知識だけで解ける問題は非常に少なく、あらゆる知識や手法を総動員して問題解決に当たるのではないでしようか。
- 一つのテーマに対してどのような知識・手法を使えば解決できるのかをまず考え、判断し、あらゆる方面から問題にチャレンジする総合力も、実際には非常に大切であると考えます。
- このようなことから、私たちは**科目と科目の壁を取り払った新しい試験**があっても良いと考えました。これが「多面的・総合的」の第一の意味です。

四科総合入学試験について（抜粋）1994年11月



2. 総合的な学力 **知識より思考・判断・表現**

- これまでの入試のほとんどが、知識すなわち暗記と、訓練すなわちスキルに頼ってきたことに対する反省も、最近また聞かれるようになりました。
- 一般的に言えば、これから必要とされる能力は、**情報の受容・分析、論理的な思考・判断、創造的な構成・表現などの総合力**になるでしょう。
- 大学入試では、たとえば東大などの後期日程で実施されている総合入試や、早稲田・慶應をはじめとする私立大学における英語と小論文を中心とする入試などで、このような「学力」を測ることにチャレンジしています。これが「多面的・総合的」の第二の意味です。

四科総合入学試験について（抜粋）1994年11月

創造

豊かに生きる

共に生きる力

誠実

3. 鷗友が追究する人間像 建学の理念へ回帰

- 市川源三は、「女性である前にまず一人の人間であれ」、「社会の中で自分の能力を最大限発揮して活躍する女性になれ」と教えていました。鷗友学園は、その教えを教育の根本に、一人一人のいろいろな可能性を抽き出し、能力を発揮できるようにすることを大切にしてきました。
- どの教科でも単なる暗記だけではない、一人ひとりの可能性を抽き出し、さまざまな能力を伸ばすことに挑戦していることがわかりいただけのほずです。「入学試験は学校の顔」と言われますが、「四科総合入学試験」は、このような鷗友学園の教育の延長線上に生まれたものだといえます。

思考コード

(『首都圏中学受験案内2020』晶文社より)

慈愛
共に生きる力

創造
豊かに生きる力

変換操作	全体関係	変容 3	ザビエルがしたこととして正しい選択肢をすべて選び年代の古い順に並べなさい。 A3	キリスト教の日本伝来は、当時の日本にどのような影響を及ぼしたのか、200字以内で説明しなさい。 B3	もしあなたが、ザビエルのように知らない土地に行って、その土地の人々に何かを広めようとする場合、どのようなことをしますか。600字以内で答えなさい。
複雑操作	カテゴリー	複雑 2	ザビエルがしたこととして正しい選択肢をすべて選びなさい。 A2	キリスト教を容認した大名を一人あげ、この大名が行ったこと、その目的を100字以内で説明しなさい。 B2	もしあなたが、ザビエルとしたら、布教のために何をしますか。具体的な根拠と共に400字以内で説明しなさい。 C2
手順操作	単純関係	単純 1	(ザビエルの写真を見て)この人物の名前を答えなさい。 A1	ザビエルが日本に来た目的は何ですか？50字以内で書きなさい。 B1	もしあなたが、ザビエルの布教活動をサポートするとしたら、ザビエルに対してどのようなサポートをしますか。200字以内で説明しなさい。 C1
(数)	(言語)		A 知識・理解思考 知識・理解	B 論理的思考 応用・論理	C 創造的思考 批判・創造

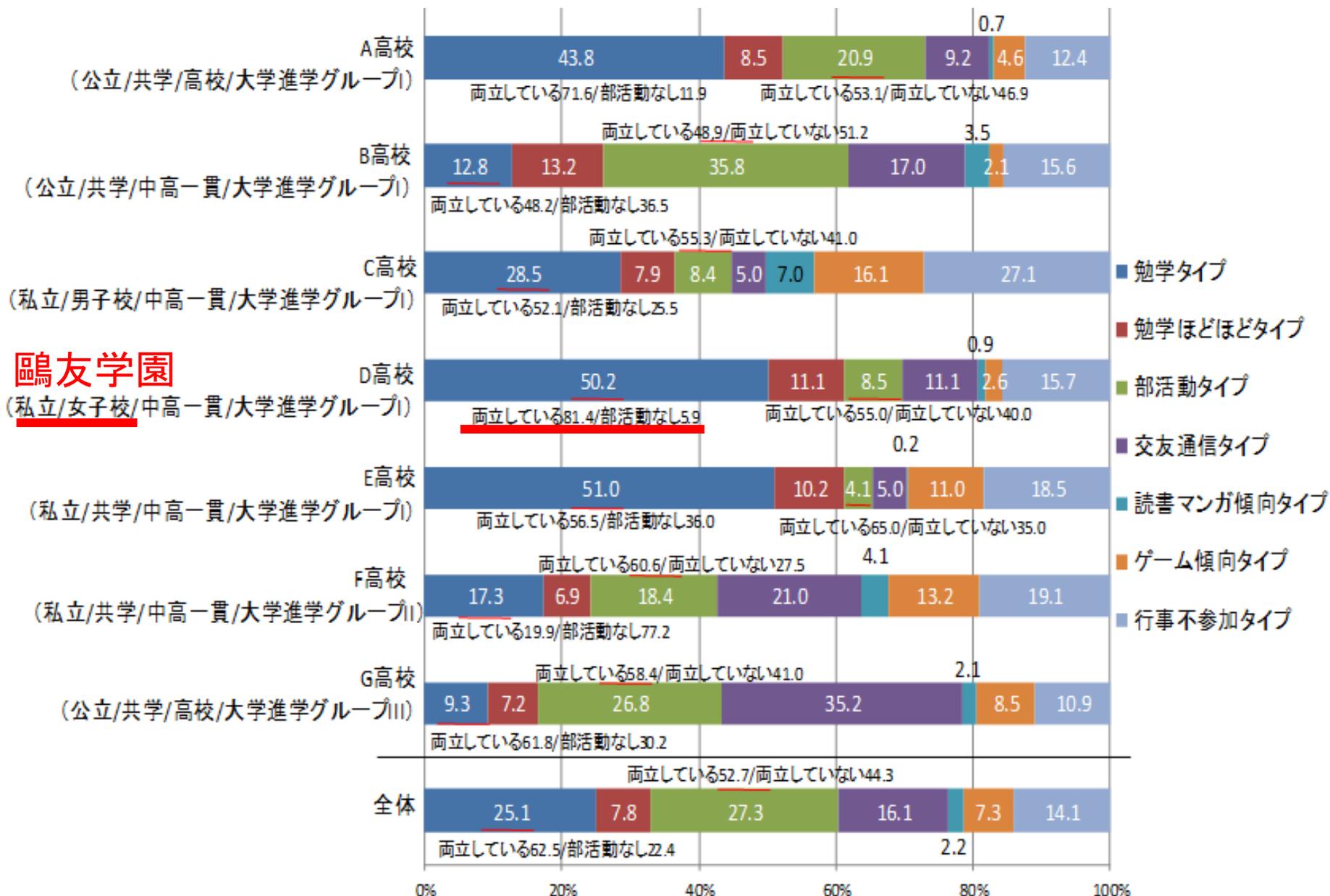


「思考コード」で見る首都圏入試

(『首都圏中学受験案内2020』晶文社より)

首都模試	中学校名	算数	国語	総合		首都模試	中学校名	算数	国語	総合
78	筑波駒場	74	91	165		69	鷗友学園	52	68	120
75	栄光	77	64	141		74	駒場東邦	63	55	118
78	開成	64	70	134		72	武蔵	64	48	112
76	桜蔭	59	74	133		69	白百合	84	26	110
76	渋谷幕張	76	53	129		73	海城	73	31	104
74	麻布	60	65	125		77	聖光	76	28	104
73	渋谷渋谷	69	53	122		73	雙葉	76	24	100

鷗友生の多くは大学・社会で活躍できる！



今年の学園祭 生徒の発表（予定）



世界が鷗友を必要とする時が来たんだ！

中学3年生 歴史文化研究会 3名

発表の全体像



①現在の社会と 鷗友学園

- 鷗友学園の教育は、今の社会に出ていく上で役立つのか？
- 6年間学校生活を送って身につくものとは？

卒業生のお話から、
鷗友の教育の可能性を
考えます！

②鷗友の教育と キリスト教の関係

- 現在の鷗友学園にキリスト教の考え方で生きているの？
- 鷗友学園の校訓である、「慈愛と誠実と創造」の本当の意味とは？

鷗友の教育には
キーワードがあった！

③キリスト教と 鷗友学園の関係

- そもそも鷗友学園に聖書の授業ができたのはなんで？
- 鷗友学園とキリスト教の関係とは？

鷗友の二代目校長先生である市川源三先生の歴史から読みときます！

鷗友の卒業生の話によく出てきたキーワード！



自己肯定&他者の尊重

グローバル

平和教育

現代社会

All English

聖書

- ⑥ほとんどの卒業生に共通！
- ⑤当たり前のように海外が選択肢の中にある
- ④世に存在する偏見に敏感に
- ③自分なりの意見を持つ授業
- ②抵抗なく英語が使える
- ①異なる価値観や文化を受け止める

自己肯定 & 他者尊重

はアサーションの心得

- **自分は自分でいいじゃない？** というのは中高で培われた価値観だと思います。目標を立てて努力しても一生先々までその通りにはならないし、それは自分の所為と責めることではなくてむしろ導きかもしれません。何をやりたいかも大事ですが、**どこで何を求められているのか**というのも大事だと思います。そこは自分を信じてしなやかに生きてたら宜しいかと… (N.A.)
- 鷗友の**授業**は**相手の生き方を尊重し、多様な考え方を受けとめる**ためのベースになりました。
(A.Y.)

- 他者に寛容であること、異文化に敬意と関心を導くことを心がけながら、様々な方々に接しています。（A.U.）臼田さん
- 中3の頃、自分の意見が正しいと思い込んでいたところがあります。現社で意見を問われる機会が多かったのですが、自分の意見は正しく、正義感があるものと考えがちでした。実際は、「親や先生に褒められたい！」っていうのが強かったです…。それに打ちのめされたのも鷗友の社会科で、何も褒めてくれない中で意見を求められ、データで授業が進んでいく様子に少し苦しみました。自分以外の意見も正しい可能性もあるし、まず正しいって何だ？ って疑うようになっていったと思います。それが大学や大学院の研究にも繋がっていますね。（H.T.）

- 現社の授業が衝撃的でした。差別についての授業でしたが、「黒人についてもっている印象を書いてください」と言われて書いたら、「それは全て偏見です」と言われたのがショックでとても印象に残っています。でも確かにそうで、社会人になった今でも「〇〇人は～」「女性は～男性は～」と言った話題には、自分の価値観や印象が入らないよう気をつけています。

(E.T.)

- 主催者さんと話しながら、私は想像以上に女性だからで起こるマイナスなセルフバイアスがほぼなく、むしろプラスなものが多いなと感じます。それを辿ると、やはり「女性である前にまず一人の人間であれ」は大事な言葉だったように思い、なんとか鷗友の話が少しでもできたらと思っています。(K.F.)

- 理系の科目も、社会科も、園芸も、先生たちが楽しそうだな（時にマニアックだな）という場面がたくさん蘇ってきますし、それを一緒に友人と楽しんだ記憶がたくさんあって、毎日重い鞆を引っ提げながら勉強は大変だったなと思いつつも、自分のやりたいこととか自分の学びたい意欲はぐんぐんと伸ばしてもらった感じがしています。またソフトテニス班での日々と、趣味で続けていた音楽も、高校3年生で勉強が忙しくなっても応援してもらえたことは、自分のやりたいことを受験勉強であきらめるのではなく自分の意思で続けていくことそのために努力を惜しまない精神はおかげさまで根強くついていると思います。（N.K.）

- 鷗友の学校生活は、随所随所に、人としてここは踏ん張らなければならない、という時があり、例えば、**学園祭や運動会、送別会**の準備、友達や先生方との意見の不一致で揉めたり（そして気まずくなるので解決の為に頭をひねります）…など、生きていると、ここはどうしても戦わなければいけない、という時がたまにあって、鷗友の生活で学んだ「自分が青年の時に残る悔いは、何かに挑戦して失敗することではなく、失敗する恐怖から挑戦をしないこと」を今も思い出し、自分で「**限界だ、もう無理だ**」と思った時に、「**いや、ここからが勝負だ**」と、**勇気を出して、そこを超えて走っていける精神の強さ**を大切にしています。なので、鷗友の教育方針を学んだ、というよりは、1日1日の鷗友での生活が骨や血に6年間で染み込んだ、という感じです。（E.W.）

- 鷗友の学びを活かしていること：現社の授業→100%選挙に行っている。進路選択→スクラップで興味があると分かった心理学を大学で専攻。班活動→どんな仕事もチームで動くので、チーム内の調整や誰とでもうまくやるスキルが活かしている。メンタリティ→人事や他社の方に総じて「鷗友生はたくましい、芯が強い、明るい」と高評価。メンタルが強いと感じる。（R.N.）
- 鷗友の様々な世代の卒業生達が時折来店してくれます。みんな、派手に振る舞うことなく、人の話をきちんと聞きながら、自分自身を静かに持っている人ばかりだし、自身や社会について考え続けている人ばかりだなといつも感じます。（A.U.）

- 女の子の自立の精神が鷗友での最大の学び。おかげさまで「与えられたモノをこなす」のではなく「自分で開拓していく」感じが、周囲の女性よりはるような気がする。……学園祭 / 運動会 / 生徒会 / 班活動→「生徒が主体」は言うは易しで、大人になってみると「基本なんでも生徒たちで進めてみなさい、自分たちで決めてみなさい」ってすごいこと。世の中に出てみると、進められない、決められない大人がいっぱいなことにはびっくり。(Y.N.)
- 自分の性格がリーダーシップというより補佐タイプ、というのは中高通して同級生のとんでもない才能を目の当たりにしたり、委員会活動、班活動、実行委員会など色々経験したおかげで理解できたなと思います。(Y.A.)

- 鷗友在学中は「自己肯定感を持とう」と言われてもピンと来なかったが、今では短所も自分らしさの一つと考えられるようになり、まず自分が自分を大切にしようと思いながら生活するようになった。大学で国際系の学問を専攻していることも関係するが、「世界にはばたけ鷗友生」という言葉をよく聞いていたせいか、大学卒業後に海外勤務をすることも進路の選択肢の一つに。……鷗友で身につけた自律性(?)のおかげで、「周りに合わせる」よりも「自分のやりたいことに挑戦する」という考えになった。……当時はあまり真面目に聞いていなかったが、アサーションで学んだことが卒業後に大切だと気づいた。話し方や態度で相手の反応が大きく変わると体感している。(A.H.)

- 「それって知らぬ間にあなたの中に出来上がった偏見・固定観念じゃないの？」と気付いてもらえるように行動で示しています。例えば、結婚式でも「女は男の一步後ろを歩いてニコニコしていれば良い」という固定観念を払拭するため、披露宴で新郎が挨拶する場面が定番の挨拶も私が挨拶しました。…私の思いとしてはこれから生まれてくる子供は「日本人だから」「女だから」「男だから」と育てるのではなく、生まれてきた子供をそのまま1人の「個」として大事に育てていきたいと考えています。…そんな私の思いを聞いて賛同してくれた夫は、そんな子育ての第一歩として一緒に中性的な名前を考えてくれました。…夫も別に何でも個人的には良いのですが、違和感があったりするのかなと外では意識して「夫」と言うようにしていたりします。(E.T.)